

新機能紹介第4弾！！ ～分析関連の機能拡張～

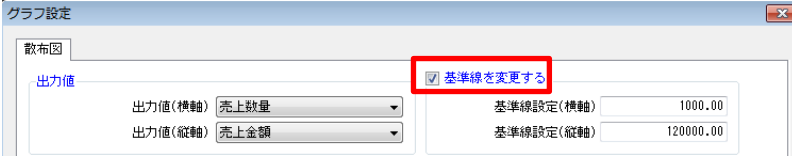
散布図の基準線を自由に変更可能に

今まで

分析検証の[散布図]で、設定項目のそれぞれの値の平均値を自動計算して青線で表示していました。

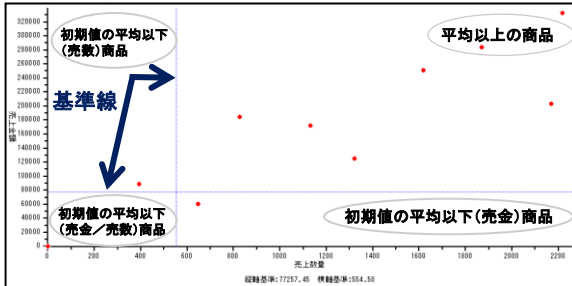
Ver7.00

Ver7.00では散布図の基準線を任意の場所に設定することができるようになりました。[グラフ設定]より「基準線を変更する」を有効にして任意の数値に設定が可能です。



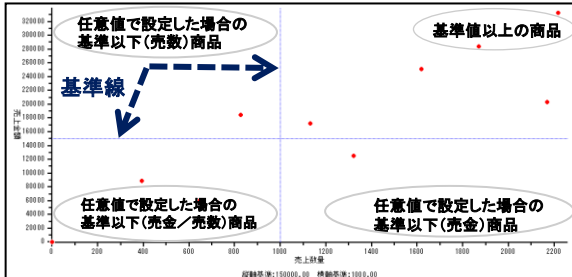
【散布図】

～基準線変更前～



～散布図とは？～
棚割操作-[分析検証]より確認できるグラフの一つです。
商品単品を点で表し、縦と横の2軸から、商品の分布・位置づけを確認できます。

～基準線変更後～



基準線を任意の場所に設定することにより…
例えば、基準数量／基準金額よりも上位の商品などを調べる際に、任意の場所に基準線を引くことで基準値以上の商品の分布を確認できます。

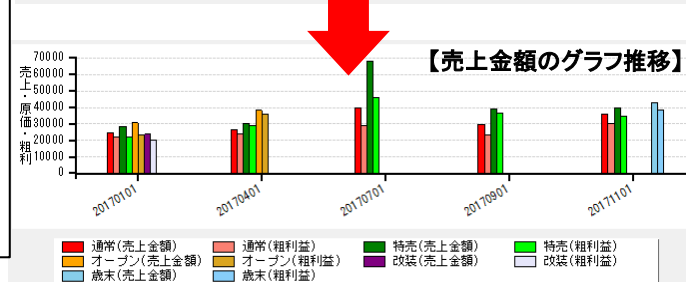
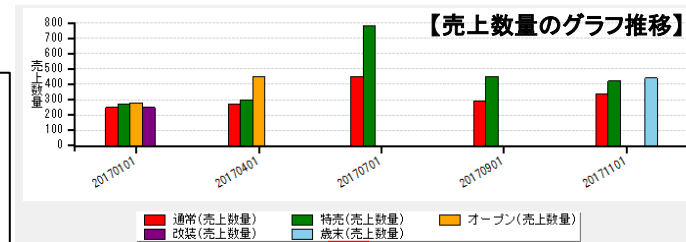
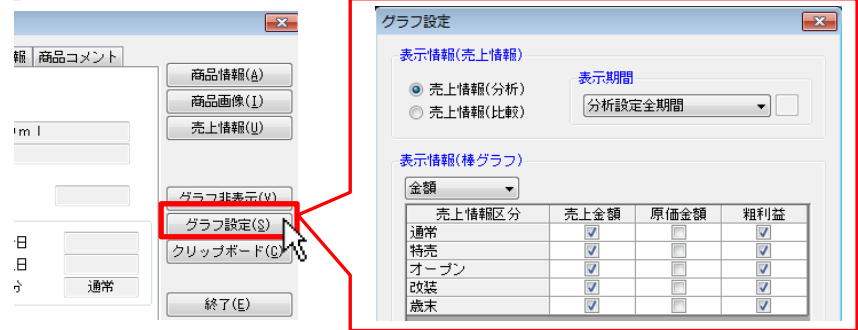
商品詳細画面の売上情報グラフを変更可能に

今まで

商品詳細の画面にて確認できるグラフは[売上数量]のグラフのみでした。

Ver7.00

Ver7.00からは売上数量だけでなく売上金額のグラフ推移を確認できるようになりました。[商品詳細]画面-[グラフ設定]より表示情報を選択できます。



商品の詳細を確認する場合、[商品詳細]より可能です。今までは、「売上数量」の推移しかグラフで確認することはできませんでしたが、Ver7.00からはグラフ設定で「数量」もしくは「金額」どちらかを選択できるようになりました。これにより、それぞれの項目別に売上の推移を一目で確認することができます。

よくあるご質問コーナー



取引先より投稿用のデータをアップロードするようにと指示がありました。自分が作った棚割のデータを取引先のシステムに投稿し、取引先側にて再現する場合、こういったデータを渡せばよいのでしょうか？



棚割データを投稿する場合、棚割モデルの陳列の位置データ(棚割モデル情報)と、棚割モデルに載っている商品のデータを合わせて送ることが多いです。以下に、基本的な手順をご紹介します。

操作手順

1. データ移行・[エクスポート]をクリックします。
2. 「新規にエクスポートする」を選択し、[次へ]を進みます。
3. [エクスポート情報の選択]画面で「商品情報-業界データ-プラネット」と「棚割モデル情報」を選択します。
4. 「エクスポート条件の選択」画面で「棚割モデル情報で絞り込む」を選択します。
5. 次の画面で、任意の棚割モデルを選択します。(複数選択可能です。)選択後、[次へ]を進みます。
6. [業界データ]の[詳細設定]ボタンを押し、[詳細設定(1)]で、商品情報のチェックボックスを有効にし、初期値で合わせます。
7. [詳細設定(2)]タブに切り替えて、商品画像のチェックボックスも有効にします。
8. 棚割モデル情報の[詳細設定]ボタンを押し、ファイル形式を「棚割配置情報(PTS)Ver2.0」を選択し設定します。※先方の指定バージョンがあればそちらを選択してください。
9. [実行]ボタンを押し、任意の場所にフォルダを作成し、そのフォルダ内にエクスポート実行します。ファイルの圧縮が必要であれば、合わせてファイルの圧縮を実行します。

※注意

棚割モデル情報のファイル形式の選択を間違えると取引先側で開けない(アップロードできない)可能性があります。選択するファイル形式をお間違えなきようお願いいたします。

棚割配置情報(PTS)は棚割ソフト間のデータ連携を可能にした共通のフォーマットです。

Ver1.0…商品が棚のどの位置にあるかの配置場所や、フェイス数などの「配置情報」に対応

Ver2.0…「配置情報」に加え、「台情報」「棚情報」(什器のサイズ)などに対応

Ver3.0…Ver2.0に加え、手前挿入や別商品積上などの再現に対応

ファイル形式

- 外部棚割モデル(*.TPW)
- 外部棚割モデル(ID)(*、MDL)
- 棚割配置情報(PTS)Ver1.0(*.CSV)
- 棚割配置情報(PTS)Ver2.0(*.CSV)
- 棚割配置情報(PTS)Ver3.0(*.CSV)
- 陳列状況

● Excel(xls)

● Excel(xlsx)

● csv

1ファイルで出力する

段目出力方法

下段から1段目としてカウントする

ユーザーの皆様よりたくさんのお問合せをサポートセンターにいただいております。このコーナーでは、その中からよくあるご質問を厳選してご紹介します。



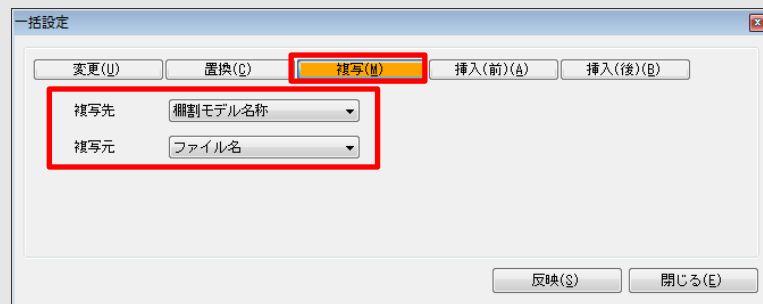
取引先からもらったPTSファイルを棚POWERにインポートする際、PTSファイルのファイル名を棚割モデル名に反映させることはできますか？



Ver7.00からはPTSファイルのファイル名を棚割モデル名称やモデルコメントに反映することができます。今まで、インポートしてから編集をする必要がありましたが、この機能を使うことでモデル設定の手間が省けます。

操作手順

1. データ移行－[インポート]を選択します。
2. インポートするPTSファイルを指定し、次へ進みます。
3. [詳細設定]ボタンをクリックし、画面内の[一括設定]ボタンを選択します。
4. [複写]機能を使って、複写先と複写元をそれぞれ設定します。



◆ 棚割モデル名称...棚割モデルそのものが持っている名称

◆ ファイル名...Excelなどでファイル出力した場合に設定するファイルの名称

取引先側で棚割モデル名称が変更されていない場合、この機能をお使いいただけるとインポート後の棚割モデル検索時に便利です。

棚POWER・店POWER WEBサイトでもよくあるご質問を公開しています。操作中にエラーが出た場合や不明点があればご利用ください。

棚POWER® Q&A

<http://faq.tanapower.com/>

棚POWER・店POWER WEBサイトトップ >> ユーザーサポート >> Q&A(よくあるご質問)

棚POWERをご契約いただいている正規ユーザー様のみ、棚POWER・店POWER WEBサイトにて「棚POWER インフォメーション」のPDFを閲覧・ダウンロードしていただけます。

正規ユーザー様のみ、閲覧に必要なユーザーIDとパスワードをお伝えしています。

棚POWER SCHOOL開催のお知らせ

毎回ご好評をいただいております棚POWER SCHOOLを、今冬も開催する予定です。(今回は東京会場のみです。)詳細につきましては、弊社棚POWERサイトに随時お知らせいたします。ご参加希望の方はぜひチェックしていただきますようよろしくお願いいたします。